

# DSX-PCxx

パッチ・コード・アダプター

ユーザーズ・マニュアル

## 限定保証および補償責任限度

フルーク・ネットワークスの製品はすべて、ここで特に明記していない限り、通常の使用およびサービスの下で、材料および製造上の欠陥がないことが保証されています。メインフレームの保証期間は購入日から 1 年間です。部品、アクセサリ、製品の修理、および点検に関する保証期間は、特に明記していない限り 90 日間です。ニッカド、Ni-MH およびリチウムイオン・バッテリー、ケーブル、その他の周辺装置は、部品またはアクセサリとして扱われます。本保証は、最初の購入者またはフルーク・ネットワークス認定再販業者のエンド・ユーザー顧客のみに限られます。さらに、使用上の間違い、乱用、改造、不注意、汚染された状況での使用、事故もしくは異常な操作や取り扱いによって損傷したとフルーク・ネットワークスが判断する製品は、保証の対象になりません。フルーク・ネットワークスは、ソフトウェアは実質的にその機能仕様通りに動作すること、また、本ソフトウェアは欠陥のないメディアに記録されていることを 90 日間保証します。但し、ソフトウェアにエラーがないこと、または何等の障害なく動作することをフルーク・ネットワークスが保証するものではありません。

フルーク・ネットワークスの指定販売業者は新しい製品および未使用製品に対する本保証をエンド・ユーザー顧客に限って与えることができますが、フルーク・ネットワークスに代わって付加的な保証や条件の異なる保証を与える権限を持つものではありません。保証サポートは、フルーク・ネットワークス認定販売店を通して製品を購入した場合、または適切な国際価格を支払った場合にのみ提供されます。フルーク・ネットワークスは、法の許す範囲内で、ある国で購入された製品の修理を他の国で求められた場合、その修理または交換に係わる費用を購入者に対して請求する権利を留保します。

フルーク・ネットワークスの保証義務は、フルーク・ネットワークスの見解に従って、保証期間内にフルーク・ネットワークス認定サービス・センターへ返送された欠陥製品に対する購入代金の返金、無料の修理、または交換に限られます。


指定販売業者一覧は、[www.flukenetworks.com/wheretobuy](http://www.flukenetworks.com/wheretobuy) にてご覧いただけます。

保証サービスを受けるには、最寄りのフルーク・ネットワークス認定サービス・センターへご連絡いただき、必要なサポートを受けてください。その後、問題個所の説明とともに製品を、送料および保険料前払い (FOB 目的地) で、最寄りのフルーク・ネットワークス認定サービス・センターへご返送ください。フルーク・ネットワークスは輸送中の損傷には責任を負いません。保証による修理の後、製品は購入者に送料前払い (FOB 到着地) で返送されます。故障の原因が怠慢、誤った使用、汚染、改造、事故、あるいは異常な条件下での使用または取扱いにある、または自然な機械的磨耗や損傷にあるとフルーク・ネットワークスが判断した場合には、フルーク・ネットワークスは購入者に対し修理費用の見積もりを提出するとともに、修理作業開始前には購入者の承認を受けます。修理の後、製品は、送料前払いで購入者に返送され、修理費および送料 (FOB 発送地) の請求書が購入者に送られます。

本保証はお客様への唯一の保証内容です。記述の保証内容以外のあらゆる保証はその対象となりません。本保証以外の保証とは、製品販売に当たって暗黙裡に想定された保証、あるいは特定の目的への適合性に限定されない明示あるいは黙示のあらゆる保証を指します。データの紛失を含む、あらゆる原因に起因する、特殊な、間接的、偶然的または必然的損害または損失に関して、それが保証の不履行、または、契約、不法行為、信用、若しくは他のいかなる理論に基づいて発生したものであっても、フルーク・ネットワークスは一切の責任を負いません。

一部の国においては、示唆的保証の条件を制約すること、または偶発的あるいは結果として生ずる損害に対する責任の免責または限定が許可されないため、本保証における制約および免責はすべての購入者に適用されるとは限りません。本保証の規定の一部が、管轄の裁判所またはその他の法的機関により無効または執行不能と見なされた場合においても、それは他の部分の規定の有効性または執行性に影響を与えません。

# 目次

タイトル	ページ
はじめに .....	1
キットの内容 .....	1
DSX-PC5ES .....	1
DSX-PC6S .....	1
DSX-PC6AS .....	1
フルーク・ネットワークスへのお問い合わせ先 .....	2
ケーブル・テスト情報に関する追加リソース .....	2
 安全性に関する情報 .....	2
DSX ソフトウェア要件 .....	3
アダプターのパフォーマンス特性の評価 .....	3
パッチ・コードのテスト方法 .....	3
テスターの設定方法 .....	3
パッチ・コード・テストの実行方法 .....	5
パッチ・コード・テストの結果 .....	6
パッチ・コード不良の原因 .....	6
ワイヤー・マップ不良 .....	6
リターン・ロス不良 .....	7
NEXT 不良 .....	7
ケーブルの不良またはプラグの不良 .....	8
パッチ・コードのメカニカル・ストレス・テスト .....	10
アダプターのジャック交換 .....	10
ジャックへの挿抜回数の監視方法 .....	11
交換用ジャックのオーダー方法 .....	11
交換用部品 .....	11

ジャックの交換方法 .....	12
仕様 .....	13
付録 A: アダプター・パフォーマンスの特性評価方法と検証方法 .....	15

# はじめに

DSX-PCxx パッチ・コード・アダプターでは、DSX CableAnalyzer® テスターを使用して、パッチ・コードが ANSI/TIA および ISO/IEC 規格に準拠しているかを判定できます。アダプターには RJ45 ジャックが装備されており、これは特に TIA-568-C.2 および IEC 61935-2 に規定されている Cat 5e および 6 パッチ・コード、IEC 61935-2 に規定されている Cat 6A パッチ・コードのテスト用にフルーク・ネットワークスが選定したものです。

## 注記

規格団体では、規格に改訂を加える場合があります。詳細については、該当する規格団体にお問い合わせください。規格および更新された規格を含む DSX ソフトウェアのアップデートに関する一般的な情報については、フルーク・ネットワークスにお問い合わせください。

# キットの内容

DSX-PCxxS パッチ・コード・アダプター・セットは以下のコンポーネントで構成されています。

## DSX-PC5ES

- DSX-PC5E Cat 5e パッチ・コード・アダプター 2 個
- DSX-PCxxS 製品マニュアル CD-ROM

## DSX-PC6S

- DSX-PC6 Cat 6 パッチ・コード・アダプター 2 個
- DSX-PCxxS 製品マニュアル CD-ROM

## DSX-PC6AS

- DSX-PC6A Cat 6A パッチ・コード・アダプター 2 個
- DSX-PCxxS 製品マニュアル CD-ROM

欠品や損傷がある場合は、購入された販売代理店まで直ちにご連絡ください。


## フルーク・ネットワークスへのお問い合わせ先


### 注記

本器に関して Fluke Networks にお問い合わせいただく場合は、できればソフトウェアおよびハードウェアのバージョン番号を書き留めておいてください。

 <http://jp.flukenetworks.com/support>

 [infoj@fluke.com](mailto:infoj@fluke.com)

 03-6714-3117

 **Fluke Networks**  
6920 Seaway Boulevard, MS 143F  
Everett WA 98203 USA

フルーク・ネットワークスは、世界の 50 カ国以上に営業所を展開しています。お問い合わせ先について詳しくは、弊社の Web サイトをご覧ください。

## ケーブル・テスト情報に関する追加リソース

DSX CableAnalyzer の詳細については、フルーク・ネットワークスの Web サイトから『Versiv シリーズ・マニュアル』を参照してください。

フルーク・ネットワークスのナレッジ・ベースには、製品に関する一般的な質問に対する答えが掲載されています。また、ケーブル技術やその他、測定に関する専門技術の記事も含まれています。

ナレッジ・ベースにアクセスするには、<http://jp.flukenetworks.com> にログオンして、[サポート]>[ナレッジ・ベース]をクリックします。

## 安全性に関する情報

### 警告

火災、感電、その他の怪我、本器への損傷を防ぎ、正確なテスト結果を得るため、本器を使用する前に、『Versiv シリーズ・マニュアル』の「安全に関する情報」をお読みください。

## DSX ソフトウェア要件

DSX メインおよびリモート・テスターで DSX-PCxx を使用してテストを実行するには、Versiv ソフトウェア・バージョン 2.3 以降が必要です。

### メインおよびリモート・テスターでソフトウェアのバージョンを確認するには

- 1 メインおよびリモート・テスターをパーマネント・リンクとチャンネル・アダプター、または 2 つのチャンネル・アダプターとパッチ・コードに接続します。
- 2 両方のテスターの電源を入れます。
- 3 メイン・テスターで、[ツール] > [バージョン情報] の順にタップします。

DSX ソフトウェアの最新バージョンは、フルーク・ネットワークスの Web サイトから無償で入手できます。Web サイトからアップデート・ファイルをダウンロードし、LinkWare® ソフトウェアを使用して新しいソフトウェアを DSX テスターにインストールします。『Versiv シリーズ・マニュアル』または LinkWare のオンライン・ヘルプの手順を参照してください。

## アダプターのパフォーマンス特性の評価

初めてパッチ・コード・アダプターを入手した場合は、パフォーマンス特性を評価します。その後、アダプターのジャックを新しいものに交換する必要があるかどうかをテスト結果から判断できます。付録 A を参照してください。

## パッチ・コードのテスト方法



### 注意

プラグをきちんと差し込まずにパッチ・コード・テストを実行すると、パッチ・コード・アダプター・ジャックの寿命を縮めたり使用不能になったりする場合があります。

### テスターの設定方法

- 1 DSX-PCxx アダプターをメインおよびリモートの DSX テスターに取り付けます。
- 2 ホーム画面で [テストのセットアップ] パネルをタップします。

- 続き -

- 3 **[テストの変更]**画面で、**[新規テスト]**をタップします。
- 4 **[テストのセットアップ]**画面で、**[ケーブルのタイプ]**をタップしてから、適切なケーブル・タイプ (Cat 5e、6、6A) をタップします。
- 5 **[テストのセットアップ]**画面で、**[テスト規格]**をタップしてから、適切なパッチ・コード・テスト・リミット (**[Cat7A Patch Cords (Cat7A パッチ・コード)]**)、**[Cat7 Patch Cords (Cat7 パッチ・コード)]**、**[Cat6A Patch Cords (Cat6A パッチ・コード)]**、**[Cat6 Patch Cords (Cat6 パッチ・コード)]**、または **[Cat5e Patch Cords (Cat5e パッチ・コード)]** をタップします。

適切なパッチ・コード・テスト・リミットが表示されない場合は、**[その他]**をタップし、**[パッチ・コード]**をタップしてから、適切なリミットをタップします。

- 6 **[テスト規格]-[パッチ・コード]**画面に、さまざまな長さのパッチ・コードのリストが表示されます。

**[テスト規格]-[パッチ・コード]**画面で、適切なパッチ・コードをタップします。

#### 注記

規格名称の後に (LA) のついた規格は、弊社サービスセンターにおいて使用する DSX ラボ・アダプター用の規格です。

パッチ・コードの長さがリストに表示されない場合は、次の長いコードのリミットを選択します。例えば、パッチ・コードの長さが 2.2 m の場合、2.5 m のパッチ・コード用リミットを選択します。

- 7 **[テストのセットアップ]**画面で、次の設定を選択します。
  - **[プロット・データの格納]: オン**
  - **[HDTDR/HDTDIX]: 合格 \*/ 失敗のみ**。時間領域反射率測定と時間領域漏話プロットのテストをすべてのパッチ・コードに実行する場合は、**[すべてのオートテスト]**を選択します。HDTDR および HDTDIX テストの詳細については、フルーク・ネットワークスの Web サイトから『Versiv シリーズ・シリーズ・テクニカル・リファレンス・マニュアル』を参照してください。
  - **[アウトレットの構成]:**パッチ・コードに適切なワイヤー・マップを選択します。
  - **[AC ワイヤー・マップ]: オフ (DSX-5000 のみ)**
- 8 テストのセットアップが完了したら、**[テストのセットアップ]**画面で**[保存]**をタップします。



- 9 **[テストの変更]**画面で、使用するテストの横のボタンが選択されていることを確認し、**[選択した項目を使用]**をタップします。
- 10 ケーブル ID リストを作成、または**[自動保存]**設定を変更する場合は、ホーム画面で**[次の ID]**パネルをタップします。

## パッチ・コード・テストの実行方法

### 注記

**DSX-PC6A アダプターの場合:** 通常、ラッチがかみ合っている場合、RJ45 プラグをジャックの内側または外側に若干動かすことができます。Cat 6A パッチ・コードの場合は、プラグとジャックの位置によりパッチ・コード・テストの結果が若干異なる場合があります。一貫性のある結果を確保するために、コードを完全に押し込むか引き戻すかをテスト手順で指定します。

- 1 図 1 に示すように、パッチ・コードをメインおよびリモートのテスターに接続します。
- 2 両方のテスターの電源を入れて、メイン・テスターで**[テスト]**をタップするか、メインまたはリモート・テスターの TEST を押します。

### 注記

メイン・テスターとリモート・テスターがパッチ・コード・アダプター経由で接続されていても、メイン・テスターによりリモート・テスターの電源が入ることはありません。

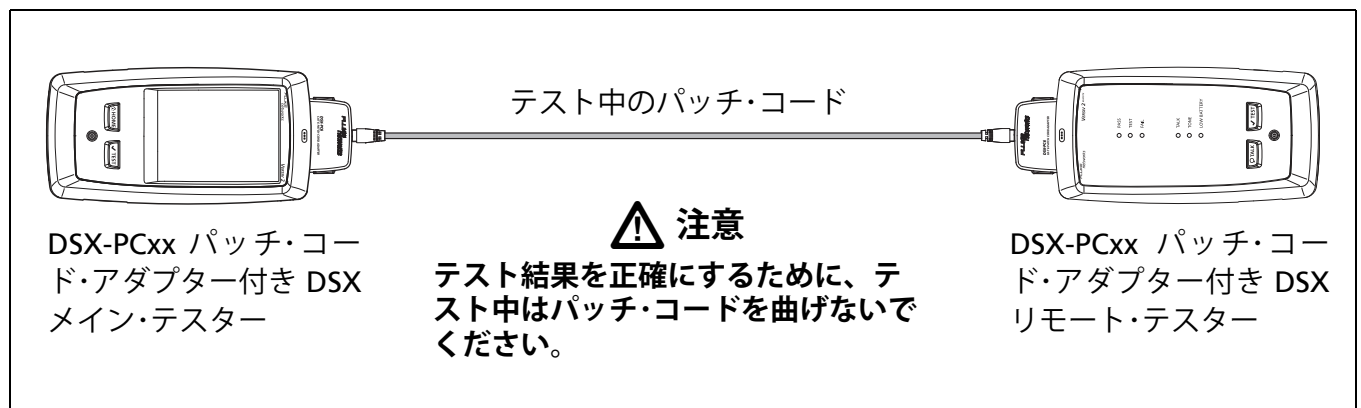


図 1. パッチ・コード・テスト時の接続

CO1.EPS

## パッチ・コード・テストの結果

パッチ・コード・テストでは、以下の特性を評価します。

- ワイヤー・マップ
- リターン・ロス (反射損失)
- NEXT

パッチ・コード・テストの仕様は、挿入損失 (減衰)、ACR-F (ELFEXT)、DC 抵抗、長さ、伝播遅延および遅延時間差の要件がパッチ・コードの設計によって満たされているため、これらの測定テスト・リミットは必要とされないことを前提としています。

## パッチ・コード不良の原因

パッチ・コードの不良は、配線不良、製造上の欠陥、低品質の材料、またはケーブルやプラグの損傷による場合があります。

マージンが小さくなり始め、障害がより頻繁に発生する場合、アダプターのジャックを新品に交換する必要があるかもしれません。アダプターが新品の場合にアダプターのパフォーマンス特性を評価するには、結果および基準パッチ・コードを使用して、アダプターのパフォーマンスを評価します。付録 A を参照してください。

以下のセクションでは、ワイヤー・マップ、リターン・ロスおよび NEXT の不良に対する一般的な原因について説明します。

### ワイヤー・マップ不良

ワイヤー・マップ不良は、通常、以下の問題により発生します。

- プラグの間違ったピンに接続されたワイヤー
- 不良な接続
- 損傷しているプラグ
- 損傷しているケーブル
- **[テストのセットアップ]** 画面で間違った **[アウトレットの構成]** の選択
- T568A および T568B 配線規格の混合 (1-2 および 3-6 のクロス)
- プラグのピン間に導電性の異物が混入

## リターン・ロス不良

リターン・ロス不良は、通常、以下の問題により発生します。

- ケーブル・インピーダンスが 100 Ω ではない
- パッチ・コードの取り扱いにより、インピーダンスの変化が発生
- プラグでの過度なペアーの撚り戻し
- 不良な品質のプラグ
- ケーブル・インピーダンスが一定していない ( 不良な品質のケーブル )
- ケーブルのねじれ ( 挟み込みやよじれなど )
- プラグとジャックの不適合 ( 通常、Cat 6/Class E 用途に影響 )
- 不正なテスト・リミットの選択

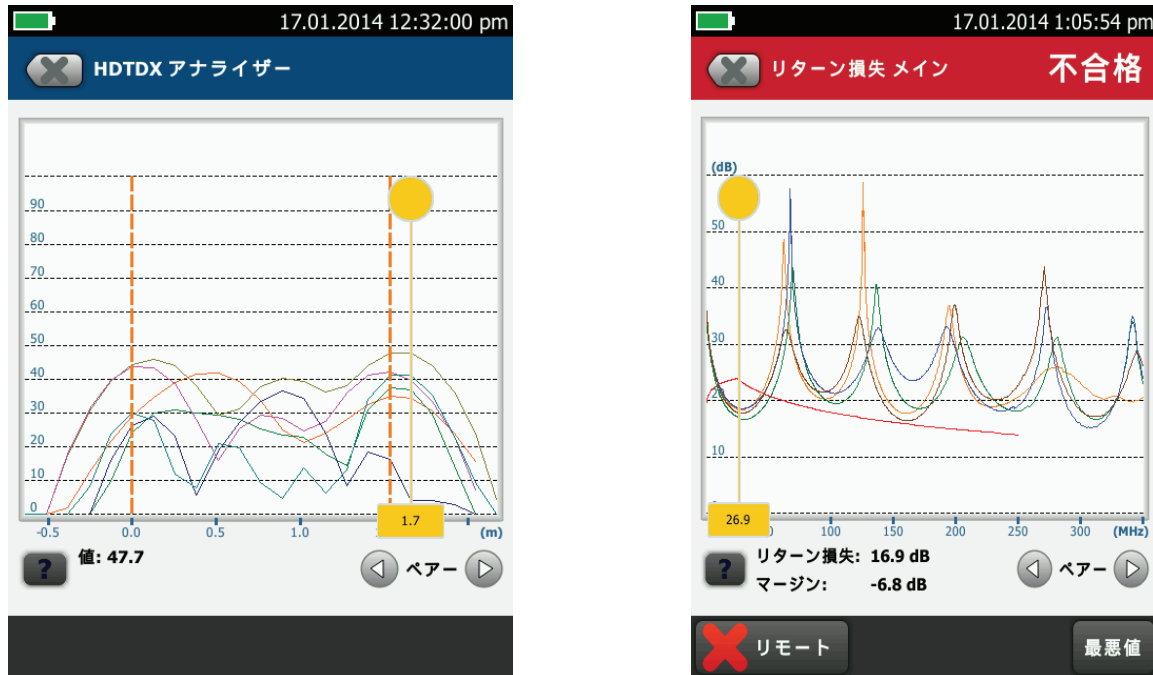
## NEXT 不良

NEXT 不良は、通常、以下の問題により発生します。

- プラグで過度に撚り戻されたワイヤー・ペアー NEXT 不良の大半は、ワイヤー・ペアーが撚り戻されるプラグで発生します。
- 不良な品質のプラグ
- 不良な品質のケーブル
- 相性の良くないプラグおよびジャック
- ケーブルのねじれ ( 挟み込みやよじれなど )
- テスト中にケーブル付近に過度の電気ノイズが発生
- 不正なテスト・リミットの選択

## ケーブルの不良またはプラグの不良

HDTDx およびリターン・ロス・プロットを使用して、パッチ・コード不良がケーブルまたはプラグの製品不良または取り付け不良に起因するものかを確認できます。図 2 および 3 を参照してください。

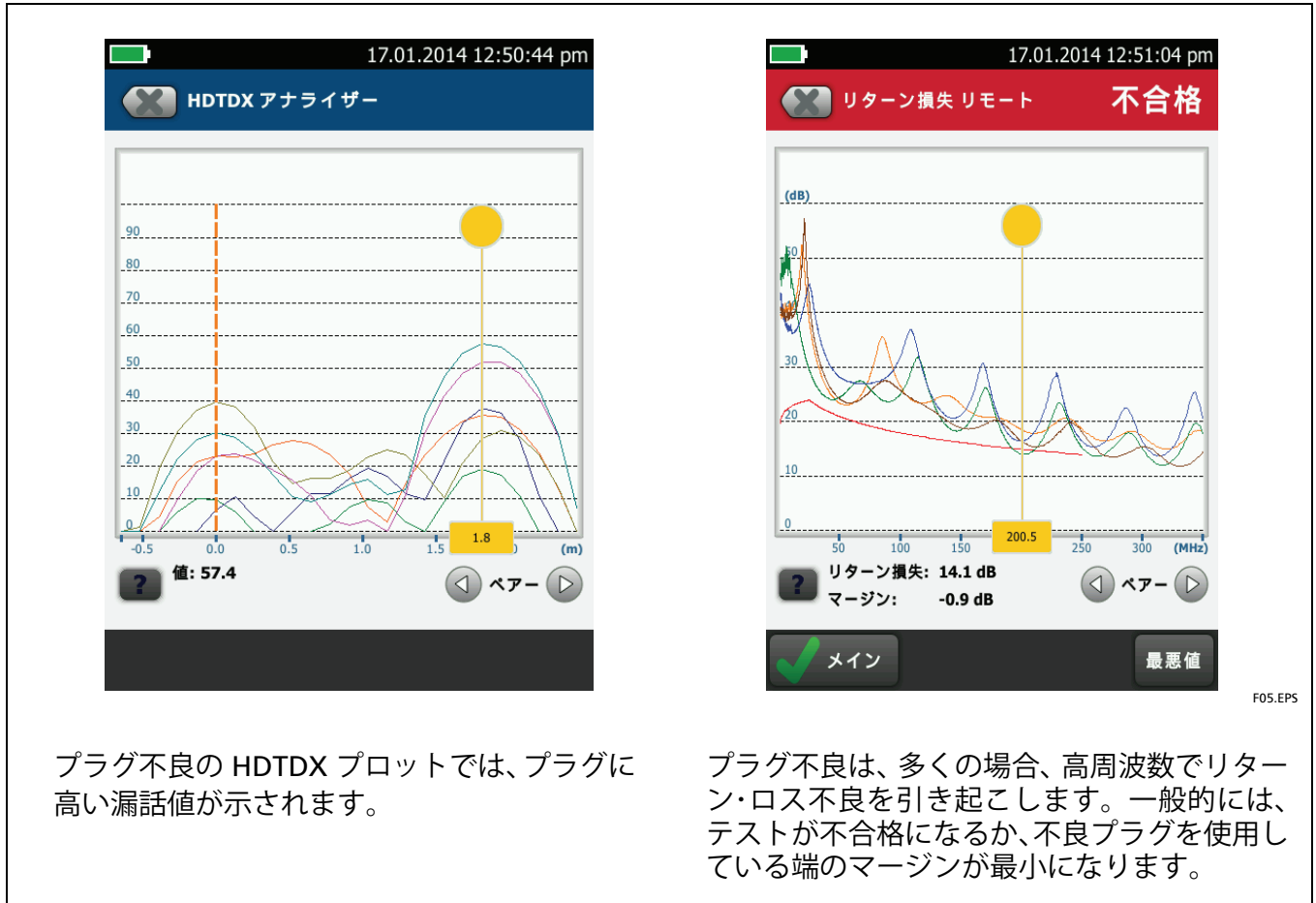


F02.EPS

ケーブル不良の HDTDx プロットでは、ケーブルに高い漏話値が示されます。

ケーブル不良は、多くの場合、低周波数 (50 MHz 未満) でリターン・ロス不良を引き起こします。

図 2. ケーブル不良の場合の HDTDx および RL プロット



F05.EPS

図 3. リモートにおける不良プラグの HDTDX および RL プロット

## パッチ・コードのメカニカル・ストレス・テスト

すべてのパッチ・コード設計で、パフォーマンス (特に、メカニカル・ストレス・テスト時のリターン・ロス・パフォーマンス) の変化を評価する必要があります。ストレス・テストについては、ANSI/TIA 規格または ISO/IEC 規格を参照してください。

製造されたパッチ・コードすべてにストレス・テストを行うことは実用的ではないため、サンプルのパッチ・コードでテストを実行して品質を確認します。サンプル・サイズは、必要な品質レベルにより異なります。または、ストレス・テストを使用して起こり得るパフォーマンスのシフトを確認してから、最悪のマージンにそのシフトを適用して、最悪の条件でパッチ・コードが仕様に適合しているかを確認することができます。テストを実行する際にシフトを適用するか、LinkWare ソフトウェアを使用して評価のためにテスト結果を PC にアップロードすることができます。

## アダプターのジャック交換

連続的に使用する場合、DSX-PCxx アダプターの RJ45 ジャックの寿命は、通常、挿抜回数 5,000 回です。

非連続的に使用する場合、寿命は挿抜回数 750 回に減少します。750 回の挿抜後、接触部の酸化を防止する金めっきが磨耗している場合がありますが、継続的な使用により酸化部分が落ち、接触部の寿命が延びます。



### 注意

**プラグをきちんと差し込まずにパッチ・コードでテストを実行すると、パッチ・コード・アダプター・ジャックの寿命を縮めたり使用不能になったりする場合があります。**

以下の条件のいずれかが発生したアダプターのジャックを交換してください。

- パッチ・コード・テストのマージンが小さくなり始めた
- パッチ・コード・テスト、特にワイヤー・マップやリターン・ロス・テストで、結果に矛盾が見られ始めた
- パッチ・コードのジャックへの接続回数が 5,000 回を超えた
- 付録 A に記載された特性テストに不合格になった、または結果がアダプターが新品のときに示された結果と大きく異なる

## ジャックへの挿抜回数の監視方法

パッチ・コード・アダプターのテストの実行回数を確認するには、アダプターをメイン・テスターに取り付けて、**[ツール]>[バージョン情報]>[アダプター]**の順にタップします。これらの回数は、以下のように**[バージョン情報]**画面に表示されます。

- **[オートテスト・カウント]**は、アダプターで実行されたオートテストの回数です。
- **[現在のシリーズ]**は、リセットできるオートテストの回数です。ジャックへの挿抜回数を監視するには、このカウンターを使用します。ジャック交換後にカウンターをリセットするには、**[シリーズのリセット]**をタップします。

## 交換用ジャックのオーダー方法

表 1 に、DSX-PCxx パッチ・コード・アダプター用に使用可能な交換部品を示します。交換用ジャックをオーダーする場合は、2 ページを参照してフルーク・ネットワークスまでご連絡ください。

## 交換用部品

表 1. 交換用部品

内容	フルーク・ネットワークス・モデル番号
シールド付き RJ45 Cat 6A テスト・ジャック 2 個セット	DSX-PCTAC6AKS
シールド付き RJ45 Cat 6 テスト・ジャック 2 個セット	DSX-PCTAC6KS
シールド付き RJ45 Cat 5e テスト・ジャック 2 個セット	DSX-PCTAC5EKS
1 つの DSX-PC6A Cat 6A アダプター	DSX-PC6A
1 つの DSX-PC6 Cat 6 アダプター	DSX-PC6
1 つの DSX-PC5E Cat 5e アダプター	DSX-PC5E

## ジャックの交換方法



### 注意

アダプターの損傷を防ぎ、テスト結果をできる限り正確にするために、以下の点に注意してください。

- DSX-PCxx アダプターには、静電気に弱いコンポーネントが含まれています。RJ45 ジャックを交換する際は、静電放電 (ESD) 防止の規定に従ってください。
- 必ず、同じタイプのジャックに交換してください。例えば、Cat 5e ジャックを Cat 6 回路基板に取り付けしないでください。
- ジャックの取り外しまたは交換の際は、回路基板に圧力を加えないでください。

### 注記

信頼性の高い動作を確保するために、RJ45 ジャックを 10 回交換したら、DSX-PCxx パッチ・コード・アダプターを交換してください。

- 1 TORX PLUS® ドライバー (サイズ T-7) を使用して、パッチ・コード・アダプターの背面から 3 本のねじを取り外します。
- 2 アダプター・ケースを外し、ケースから回路基板を取り外します。
- 3 RJ45 ジャックを回路基板から取り出します (図 4 参照)。
- 4 回路基板上のコネクタに新しい RJ45 ジャックの位置を合わせます。ジャックの圧接コネクタを回路基板のコネクタにはめ込む方法については、図 4 を参照してください。
- 5 RJ45 ジャックを基板のコネクタに押し込みます。強く押してもジャックがコネクタに押し込まれない場合は、再度押す前に、ジャックの位置を再調整します。
- 6 ケースを取り付けます。
- 7 新しいジャックに実行したテスト回数を監視する場合は、アダプターの **[現在のシリーズ]** のカウントをリセットします。11 ページの「ジャックへの挿抜回数の監視方法」を参照してください。
- 8 以前、アダプターのパフォーマンス特性の評価を実行している場合は、特性評価手順を再度実行し、アダプターの新しい特性評価の結果として結果を保存します。15 ページの「アダプターの特性を評価する方法」を参照してください。



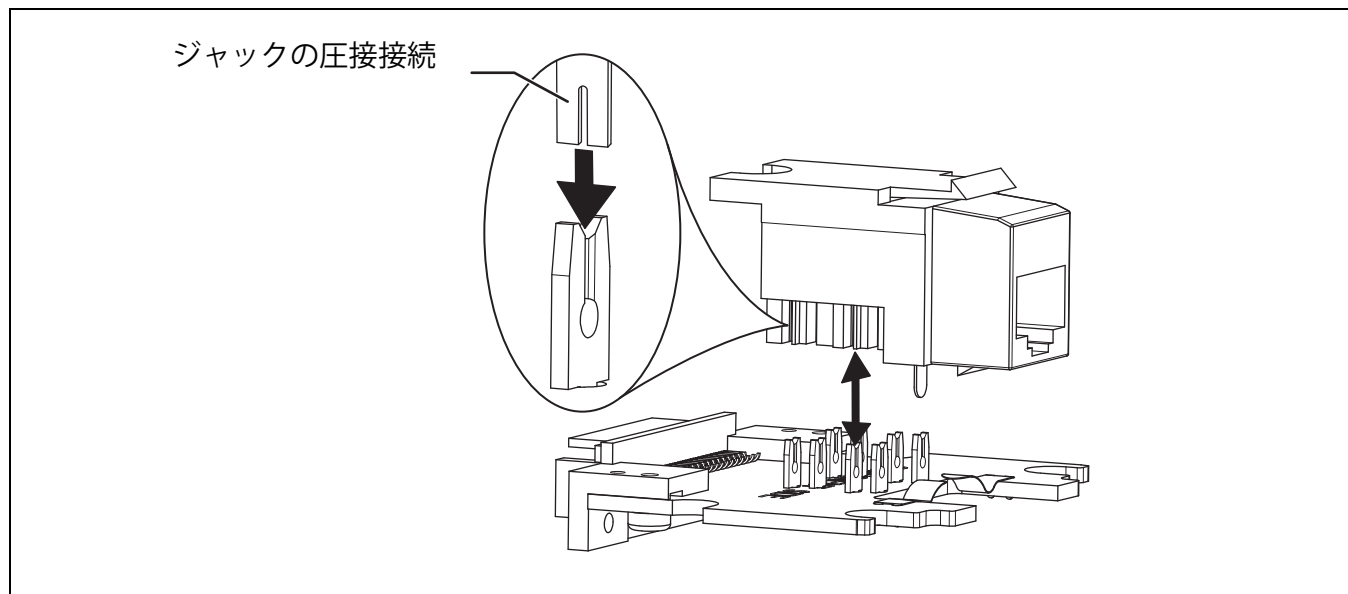


図 4. 回路基板上で RJ45 ジャックの位置を合わせる方法

## 仕様

DSX CableAnalyzer テスターおよびアダプターは、パーマネント・リンクおよびチャネルの合格 / 失敗リミットの категорияで以下の確度要件に準拠しています。

- ANSI/TIA および ISO/IEC の Cat 5e パッチ・コード・テスト・リミットでレベル IIe 要件
- ANSI/TIA および ISO/IEC の Cat 6 パッチ・コード・テスト・リミットでレベル III 要件
- ISO/IEC Cat 6A パッチ・コード・テスト・リミットでレベル III 要件

DSX-PCxx パッチ・コード・アダプター仕様の詳細については、フルーク・ネットワークスまでお問い合わせください。

DSX CableAnalyzer の使用については、フルーク・ネットワークスの Web サイトから『Versiv シリーズ・テクニカル・リファレンス・ハンドブック』を参照してください。



# 付録 A: アダプター・パフォーマンスの特性 評価方法と検証方法

## はじめに

本付録では、DSX-PCxx アダプターのパフォーマンス特性を評価する方法について説明します。後で再度テストを実行し、アダプターが正常に作動するかどうかを確認できます。

## アダプターの特性を評価する方法

初めてパッチ・コード・アダプターを入手した場合は、次の手順を実行して、パフォーマンス特性を評価します。

- 1 DSX-PCxx アダプターをメインおよびリモートの DSX テスターに取り付けます。
- 2 優良と思われる長さが同じパッチ・コードを数本用意します。
- 3 メイン DSX テスターで、パッチ・コードに適切なパッチ・コード・テスト・リミットを選択します。
- 4 パッチ・コードでオートテストを実行し、合格するパッチ・コードを見つけます。結果に「合格 \*」と表示されているものです。優良なパッチ・コードを 2 本選択し、基準のパッチ・コードとします。

### 注記

オートテストを実行する場合は、5 ページの図 1 に示すようにパッチ・コードをまっすぐに伸ばしてください。

- 5 基準パッチ・コードのテスト結果を保存し、LinkWare に結果をアップロードします。結果は、後で参照できる場所に保存しておきます。

- 続き -

- 6 基準パッチ・コードの端に、テスト用に接続するメインとリモートの印を付けます。後でアダプターのパフォーマンス・テストに使用するために、基準パッチ・コードを保管しておきます。

### 注意

基準パッチ・コードの一貫性のあるリターン・ロス (反射損失) 測定のために、テスト中や保管中にコードにメカニカル・ストレスを加えないようにしてください。コードを曲げたりねじったりすると、パッチ・コードのパフォーマンスが変化します。

### 注記

後で基準パッチ・コードのテストを実行する際は、初期テストで使用したものと同一のメインおよびリモートの DSX テスターを使用します。テスト結果には、テスターのシリアル番号が表示されます。

## アダプター・パフォーマンスの検証方法

アダプターが正常に作動するかどうかを確認するには、この手順を使用して、初期特性テストの結果を現在の結果と比較します。

- 1 LinkWare を使用して、基準パッチ・コードの初期テストの結果を表示します。
- 2 初期テストに使用したものと同一のメインおよびリモートの DSX テスターを用意します。シリアル番号は、テスト結果に表示されています。
- 3 パッチ・コード・アダプターをテスターに取り付けます。
- 4 メイン DSX テスターとリモート DSX テスターの間に基準パッチ・コードを接続します。正しいテスターにパッチ・コードの端を接続します。
- 5 DSX テスターで、初期テストに使用したパッチ・コード・テスト・リミットを選択します。
- 6 オートテストを実行し、結果を保存します。
- 7 DSX と LinkWare でプロットを使用して、リミット・ラインに最も近い部分で NEXT (近端漏話減衰量) と RL (反射減衰量) のマージンを比較します。優良なアダプターとジャックに関しては、新旧の NEXT および RL マージンが非常に類似している必要があります。

---

#### 注記

アダプターのジャックを交換した場合、新旧マージンの差は、0.5 dB を超える可能性があります。差が数デシベルを超える場合は、新しいジャックが正しく取り付けられていて、アダプターに損傷がないことを確認します。

- 8 新旧マージンが類似していない場合は、アダプターの RJ45 ジャックを交換してください。詳しくは、10 ページの「アダプターのジャック交換」を参照してください。
- 9 この手順を実行してアダプターで新しいジャックのパフォーマンスを検証した場合、アダプターの新しい特性評価結果として結果を保存します。

